

環境

油流出事故



油流出事故にご注意を！

冬は暖房機器を使う機会が増えます。一般家庭や事業所のホームタンクや配管から灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出すケースが毎年発生しています。その多くが人為的ミスによるものです。油がいったん流れ出すと水や土壌の環境汚染をもたらすばかりでなく、流出防止のためのオイルフェンス設置、吸着マットによる吸い取り、汚染された土の処分など、大掛かりな対応が必要となります。これらの多くの費用は、事



故を起こした原因者が責任を持って負担しなければなりません。

●主な発生原因

- ①給油時の不注意による流出
- 給油中にその場を離れてしまう。

・ホームタンクの元栓を閉め忘れる。

- ②落雪による配管の破損

- ③除雪作業による配管の破損

●防止策

- ①給油時はその場を離れず、終わったらしっかりと元栓を閉め、確認する。
- ②落雪による配管破損の防止

対策を行うほか、腐食や亀裂がないか定期点検に努める。

- ③除雪のときは、配管などを壊さないように注意する。

☆お願い

冬期間は、積雪の影響でごみ集積所の扉が開かず、ごみを収集できない場合があります。除雪について皆さんのご協力をお願いします。

■問い合わせ

町民課くらし環境係

(☎85-6131)

建設水道課管理係

(☎85-6140)

ライターは正しく捨てましょう!!



○不要なライターはきちんとガス抜きをしてから捨てましょう。

使い切った後、さらに上部の金具を取りはずすか、下部に穴をあけるなどして、完全にガスを抜いてから「不燃ごみ」に出してください。ガス抜きをする際は、火の気の強いことを確認し、風通しのよい屋外で行ってください。ごみ袋の中に、きちんとガス抜きされたライターが入っていたため、収集作業中に爆発した事例もありますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、ライターの火遊びによる火災を防ぐために、次のことに注意しましょう。

○ライターは子どもの手の届かないところに置きましょう。

家の中、車の中にライターを放置せず、子どもの手の届

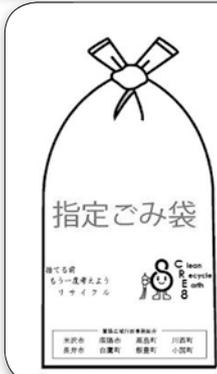
かない場所にきちんと保管しましょう。

○子どもに触らせず、火遊びの危険性を教えましょう。

子どもがライターで火遊びをしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせましょう。理解できる年齢になったら、家庭や学校で子どもにも火遊びの危険性を教えることも大切です。

お願い

最近、不燃ごみ袋の口を紐で結んで収集所に出されたごみ袋を見かけます。紐やガムテープなどは使わず、必ずごみ袋の先を結んで出すようにしてください。



■問い合わせ

町民課くらし環境係

(☎85-6131)

平成22年度工業統計調査にご協力ください

製造業の実態を明らかにするために、毎年12月31日現在で工業統計調査を実施しています。

調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料、企業や大学の研究資料などとして広く利用されます。対象となる事業所には調査員が訪問しますので、調査へのご協力をお願いいたします。

なお、調査票に記入していただいた内容は、統計法に基づき秘密が厳守されます。

▼調査日 平成22年12月31日現在

▼調査対象 主として製造業を営む事業所

▼調査方法 調査員調査（調査員が調査票を配付し、回収します。）

■問い合わせ 総務課情報係 (☎85-6121)

